

回答の傾向について

回答率80%

「A・・・とてもよくできている」より、「B・・・よくできている」と評価する割合が多くなっています。

- 前期評価のため、未実施の内容があること。
- 実施後、次の課題を見据えてより良いものを目指していることなどが考えられます。



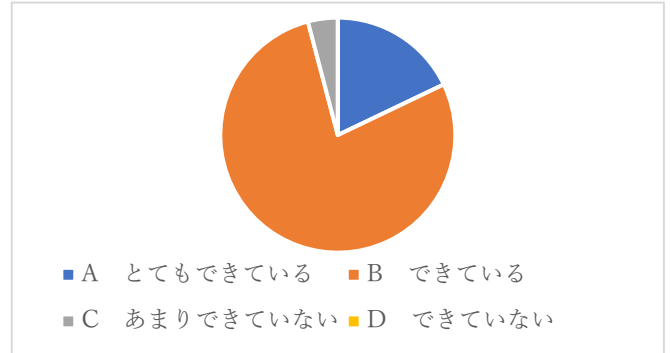
重点目標・重点事項について 【質問項目1～8】

【質問項目1】

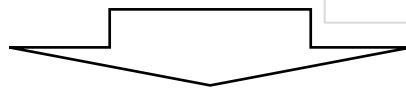
※学校経営・運営ビジョン重点目標（1）

年間指導計画に基づいた、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成とキャリア教育の育成に努めている。

A 17.9% B 78.0% C 4.1%



学部ごとにみると・・・



【質問項目3】

※小学部重点事項（1）

「年間指導計画」及び～中略～他者や社会に働きかけようとする人間関係形成・社会形成能力の育成に努めている。

A 17.9% B 78.0% C 4.1%

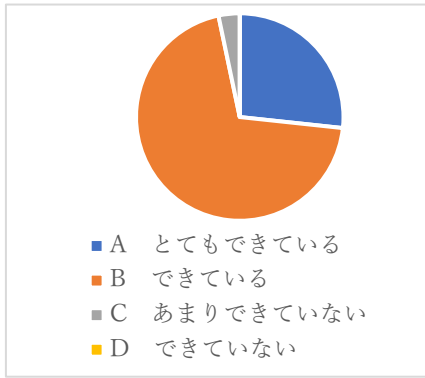


【質問項目5】

※中学部重点事項（1）

「年間指導計画」及び～中略～他者と協力・協働して社会にかかわろうとする人間関係形成・社会形成能力の育成に努めている。

A 26.7% B 70% C 3.3%

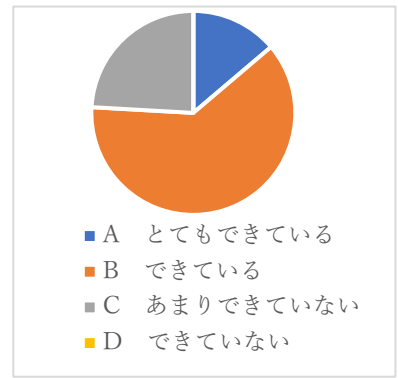


【質問項目7】

※高等部重点事項（1）

「学びの履歴」及び～中略～培った資質・能力を「生活の中で活用できる力」の育成につなげるよう努めている。

A 13.8% B 62.1% C 24.1%



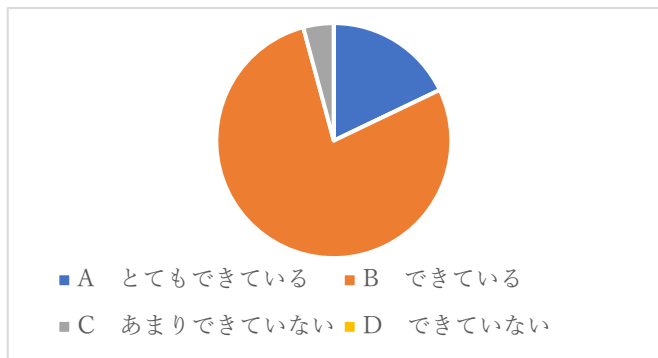
小・中学部と比較すると、「C」の回答が高等部では多くなっています。このことについて、学校評価委員会では、「高等部では今年度より新学習指導要領が施行となったこと」や「高等部は教科担当制であるため、学びの履歴や年間指導計画の捉え方を共有することの難しさがあるのではないか」と考えました。具体的な改善案を出し合いながら、後期に向けて取り組んでいきたい項目です。

【質問項目2】

※学校経営・運営ビジョン重点目標（2）

児童生徒の障がいの状態や特性及び発達の段階等に応じたICT機器の活用をはじめとする教材・教具の創意工夫に努めている。

A 17.9% B 77.9% C 4.2%



学部ごとにみると・・・

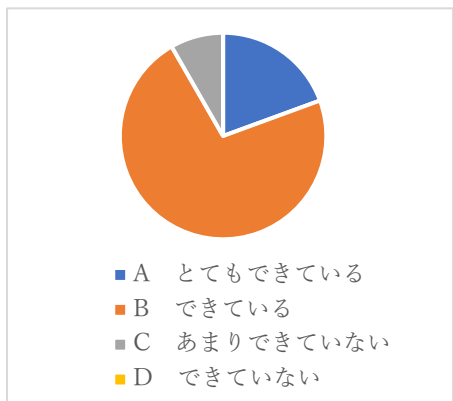


【質問項目4】

※小学部重点事項（2）

ICT機器の活用をはじめとする～中略～児童が課題解決の学習に主体的に取り組んだりしている。

A 19.4% B 72.2% C 8.3%

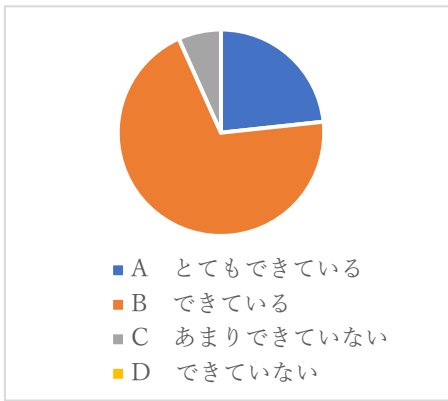


【質問項目6】

※中学部重点事項（2）

ICT機器をはじめとする～中略～情報活用能力に努めている。

A 23.3% B 70.0% C 6.7%

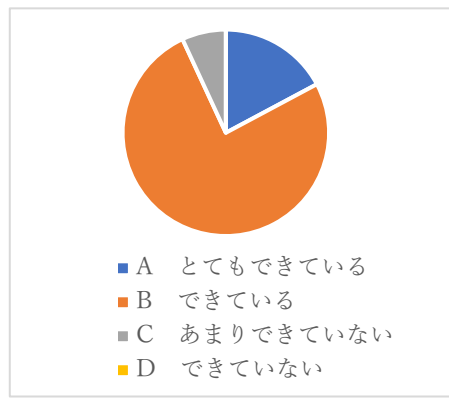


【質問項目8】

※高等部重点事項（2）

ICT機器等の環境を整えながら～中略～「情報モラル教育」の充実に努めている。

A 17.2% B 75.9% C 6.9%



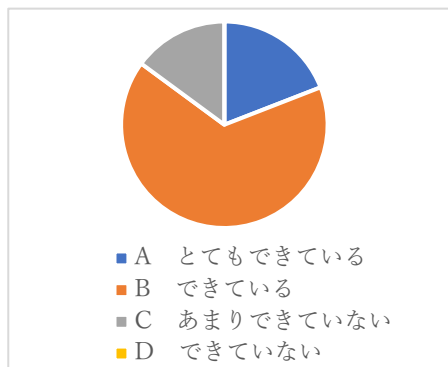
ICT機器の活用に関する本項目では、若干ではあるものの小学部でCの回答が多くなっています。学校としては、情報教育部と研修部が連携して企画学習会を実施するなど、ICT機器の活用について積極的に取り組んでいるところです。他学部や他学級でどのような取り組みを行っているのかなどを知ること、授業づくりの参考にしたり、活かしたりできるのではないかと考えています。

教務 【質問項目10】

※社会に「開かれた教育課程」の実現に向けた取組

地域の人的・物的資源を活用し、社会との連携・協働を図り、組織的・計画的に教育活動を行っている。

A 19.1% B 66% C 14.9%

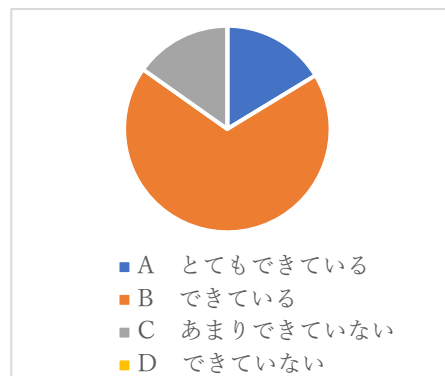


昨年度の同時期の結果と比較し、Cの回答が増えています。（昨年度は、学部ごとの集約で各学部5%弱）コロナ禍で予定されていた活動の延期や中止、規模縮小等が理由として考えられますが、今後もこのような状況が続くことが予想され、活動に制限はありますが、「こうすればできる」を考えながら、学校全体として取り組んでいきたい項目です。

※生徒指導の改善・充実

携帯電話等の SNS 利用におけるマナーやルール、トラブル予防に関する指導を定期的に行い、適切な使用と相手を思いやった表現、やりとりができるようにしている。

A 16.3% B 68.5% C 15.2%



高等部における「情報モラル教育」の取り組みなど、積極的な取り組みが行

われている一方で、小学部であったり担当するお子さんによってはかかわる機会が少なかったりすることから実践につながらないという回答があるのではないかと考えられます。今回は、学部別での集計を行っていないため、学部ごとの回答の差を明らかにできませんでした。しかし、他学部でどのような取り組みを実施しているのかを知る機会を作ることによって改善が期待できる項目だと考えられます。

後期に向けて

- 今回の GoogleForms によるアンケートの集計方法は、メリットとして集計がスムーズに行えるようになった反面、学部別の集計が取れないデメリットがありました。今回の集計方法の良さを残しながらも、より先生方の声を適切に分析できる方法を探っていきたいと思います。
- 意見記述項目において、キャリア教育や進路指導に関する意見の記述が最も多く、先生方のニーズの高まりを感じました。キャリア支援部では、小・中学部で教員向けに進路研修会を実施したり、保護者や教員への情報発信を行ったりするなどの取り組みがあります。部の取り組みを学校全体で共有していきたいと考えます。
- 前期評価から、各学部、各部、各委員会等で、重点事項を意識しながら様々な取り組みを行っていることが分かりました。一方で、意見記述項目では、先生方の多忙感がある、他学部や担当業務以外の内容が見えにくいとの意見も見られます。各学部、校務分掌において成果の出ている取り組みもたくさんありますので、少しでも先生方に情報を共有していきたいと考えます。